

吉江地域づくり協議会広報

発行日 令和 3年 11月 1日
 編集・発行 吉江地域づくり協議会
 吉江交流センター

吉江地区現在の姿

人口(男)	1,790	(+7)
(女)	1,887	(±0)
計	3,677	(+7)
世帯数	1,374	(+5)
		(9月末現在) (先月比)



〒939-1732
 南砺市荒木5382-1
 TEL・FAX 52-4680
 E-mail : yoshie.kmn@gmail.com
 ホームページ
<http://yoshie-kc.T104.info>



吉江地区支え合いマップ研修会

9月28日(火)に南砺市社会福祉協議会協力のもと、吉江地区支え合いマップ作り研修会を行いました。支え合いマップとは、吉江地区の中でも自治会・町内会単位で子どもから高齢者まで支援を必要としている人を対象に、地域の住民ができる見守りや話し相手などの支援活動を通して、地域住民の支え合うしくみを作るとともに、医療・健康・福祉など生活を支援する関係者ともネットワークを作ること、誰もが安心して生活できる地域づくりを進めようとする取り組みです。

今後はこの支え合いマップを基盤に災害時に備えた防災マップ作りや地域住民が安心して生活できるよう日々更新し、取り組んでいかなければならないと思います。



さつまいも掘りを体験！！ 「親子体験事業」

令和3年度生涯学習部会の事業として、山田・北山田・吉江地区合同で親子体験事業「さつまいも掘り」が10月2日(土)に行われ、福光東部小学校の児童とその家族(約60名)が参加しました。前日まで雨が降っていましたが、芋掘り当日は清々しい秋晴れで、参加者は汗をかきながら一生懸命に芋掘りを体験していました。芋の種類は「紅はるか」で、小学生を中心に芋のつるを集めたりマルチをはずす作業等、普段あまり体験しない作業も含め芋の収穫までを行いました。



吉江ふれあい広場 in 遊部公民館

第4回「吉江ふれあい広場」が10月9日(土)に遊部公民館にて開催されました。今回の吉江ふれあい広場では、地域住民とのふれあいとして「紙飛行機」作りに取り組みました。子どもたちは、紙飛行機を作る際にどうしたら長い距離を飛ばせるか考えながら、いろいろな形の紙飛行機を作り、最後は飛行距離、滞空時間、面白い飛び方の3つ部門で1人ずつ紙飛行を飛ばす発表会をしました。また、毎回恒例のドッジボールや鬼ごっこをして体を沢山動かして遊んだり、折り紙や絵を描いたりし、子どもたちは思い思いに楽しい時間を過ごしていました。広場の最後には、地域の方が持ってこられた大型ラジコン飛行機と一緒に記念撮影をして解散となりました。

次回は、11月13日(土)に吉江交流センターを会場とし、地域の方のマジックショーを予定しています！また、再度けん玉達人もこられます！けん玉に自信のある方は、けん玉検定に挑戦しに来てみてはいかがでしょうか！！



あれこれ よしえ vol.12 ☆吉江地区のお宮さん9☆

今回は広報1月号での写真No.⑧、荒木のお宮さん「乙劔社」についてご紹介します！

古来、様々な神々を祀り、各々で神事を執り行ったようですが、時代の流れの中で一村一社となり、ヤマタノオロチ退治で有名な男神・素戔嗚尊(スサノオノミコト)を御祭神としたようです。昭和36年の第二室戸台風で倒壊した古い大木・弘法杉は、一向一揆では樹上に白衣の僧が現れて不動明王の劔をかざして指揮し、大勝したとの伝承があるようです。

更に、境内東側に在る「秋葉社」の御祭神・火之迦具土(ヒノカグツチ)は静岡県浜松市秋葉山本宮より勧請と伝えられ、火災消除の神として祀られています。

平成9年4月に乙劔社の現社殿が建立され、旧社殿は現秋葉社殿として移築されました。神事は春と秋を含め年4回執り行われており、獅子舞やお神輿はありません。

また、素戔嗚尊も火之迦具土も、国造りの神であるイザナギとイザナミより生れ出たと云われ、ねつくりまつりで舟に乗って流される老夫婦のモデルとされているようです。

記：谷井 珠恵

(左下写真：乙劔社、右下写真：秋葉社)

(企画総務部広報委員)

参考文献

- ・「吉江の昔と今」
 - VI 信仰と民俗 2村々の神社
 - ・「福光のお寺とお宮」
 - ・秋葉山本宮秋葉神社
- <https://www.akihasanhongu.jp/index.html>
- 各種ネット検索



吉江地区 11月の予定

- 11月13日(土) 吉江ふれあい広場 (吉江交流センター)
- 11月15日(月) 防犯パトロール青パト巡回 (吉江地区周辺)
- 11月19日(金) スマホ教室 (吉江交流センター)